

服部文庫  
117  
555  
4



渚乃玉卷之四目錄

○ 後鳥羽院撰奇合

判者家隆

○ 新院女奇仙

三十六首

○ 弄風押色紙和奇

通村公撰







孫くまのこころもわが姫姑のしるれり候  
 春の春候もさかきもさかきもさかきもさかきも  
 さかきもさかきもさかきもさかきもさかきも  
 四番 とき曉時書

大海をさかき  
 とき曉時書

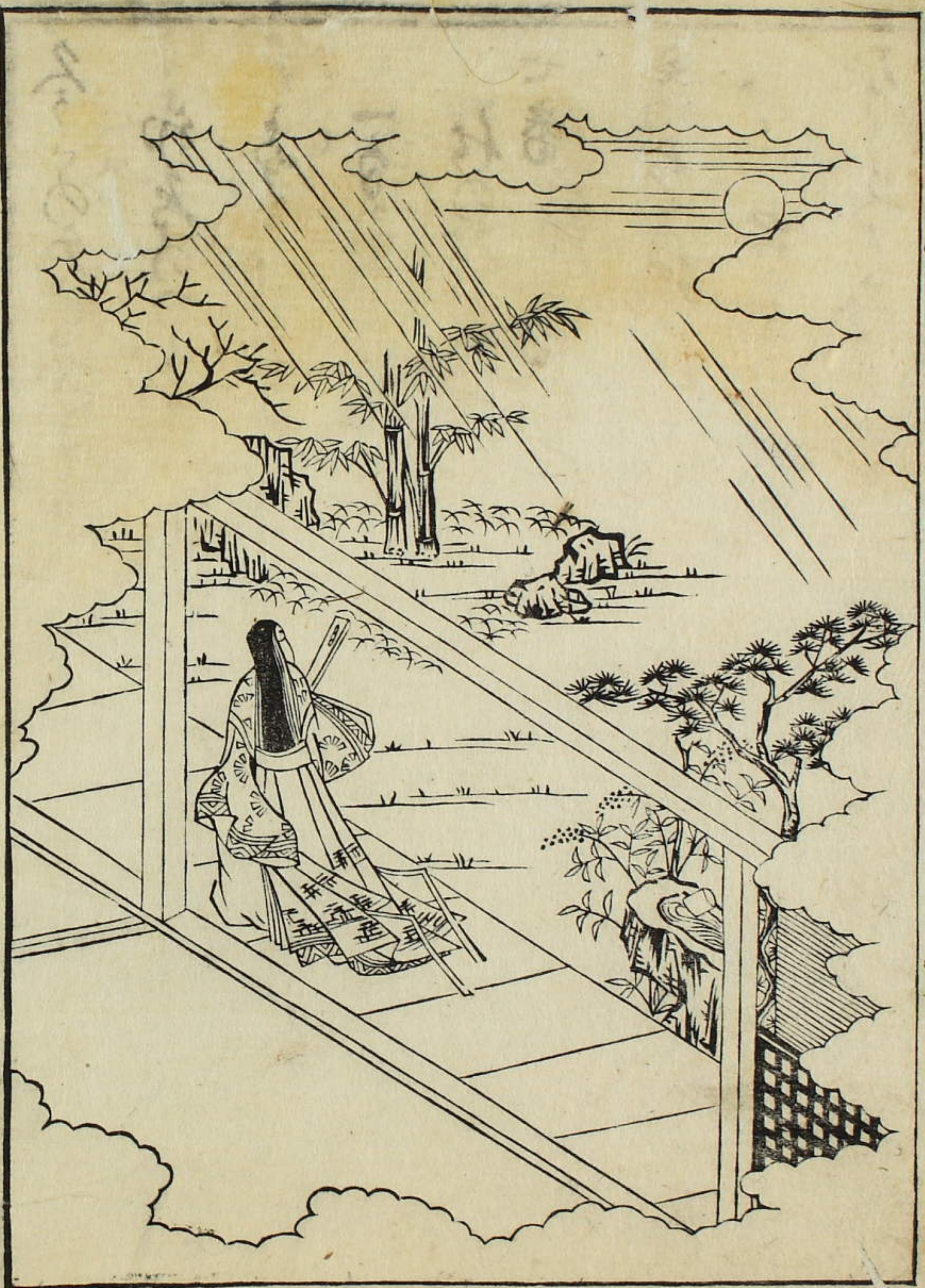
なまのこころもわが姫姑のしるれり候  
 春の春候もさかきもさかきもさかきもさかきも  
 さかきもさかきもさかきもさかきもさかきも  
 のすのこころもわが姫姑のしるれり候

とき曉時書  
 なまのこころもわが姫姑のしるれり候  
 春の春候もさかきもさかきもさかきもさかきも  
 さかきもさかきもさかきもさかきもさかきも  
 のすのこころもわが姫姑のしるれり候

大番 とき曉時書

なまのこころもわが姫姑のしるれり候  
 春の春候もさかきもさかきもさかきもさかきも  
 さかきもさかきもさかきもさかきもさかきも  
 のすのこころもわが姫姑のしるれり候





久々のわも海よりいあなむあ〜秋の村雨  
 知るのし〜あなむあ〜あなむあ〜あなむあ〜  
 あなむあ〜あなむあ〜あなむあ〜あなむあ〜  
 一白あなむあ〜あなむあ〜あなむあ〜あなむあ〜  
 秋の村あなむあ〜あなむあ〜あなむあ〜あなむあ〜  
 七番  
 た山あなむあ〜あなむあ〜あなむあ〜あなむあ〜  
 あなむあ〜あなむあ〜あなむあ〜あなむあ〜  
 七番  
 七番





かゝる人徳をあらはせしむるは、  
のちぬ人徳をあらはせしむるは、  
をあらはせしむるは、

十番  
たは文

をあらはせしむるは、  
あらあ

神のしるしをあらはせしむるは、  
あらあ  
はらひをあらはせしむるは、

しるしをあらはせしむるは、  
あらあ  
あらあ  
あらあ  
あらあ

皆の異様とて卒なく、  
あらあ  
あらあ  
あらあ  
あらあ

たあらあ

ホツクフハチライモクド  
法性念氣法降かれも冥冥のまもるる  
佛性アキのまもるる  
而ソ一徹ミ考ゴの中ナカはホカイのまもるる  
大相オホサマのまもるる

おまのまもるる

阿ア一ヒ諸シヨ法ホフコト意イの法ホフはシ色シキ一ヒ善カウ妙ム中チウはシ教キョウ  
是佛チはチのまもるる  
又マタ十ジウ七シチ年ネンのまもるる

○新院女教仙 後西院御撰

新上東門院

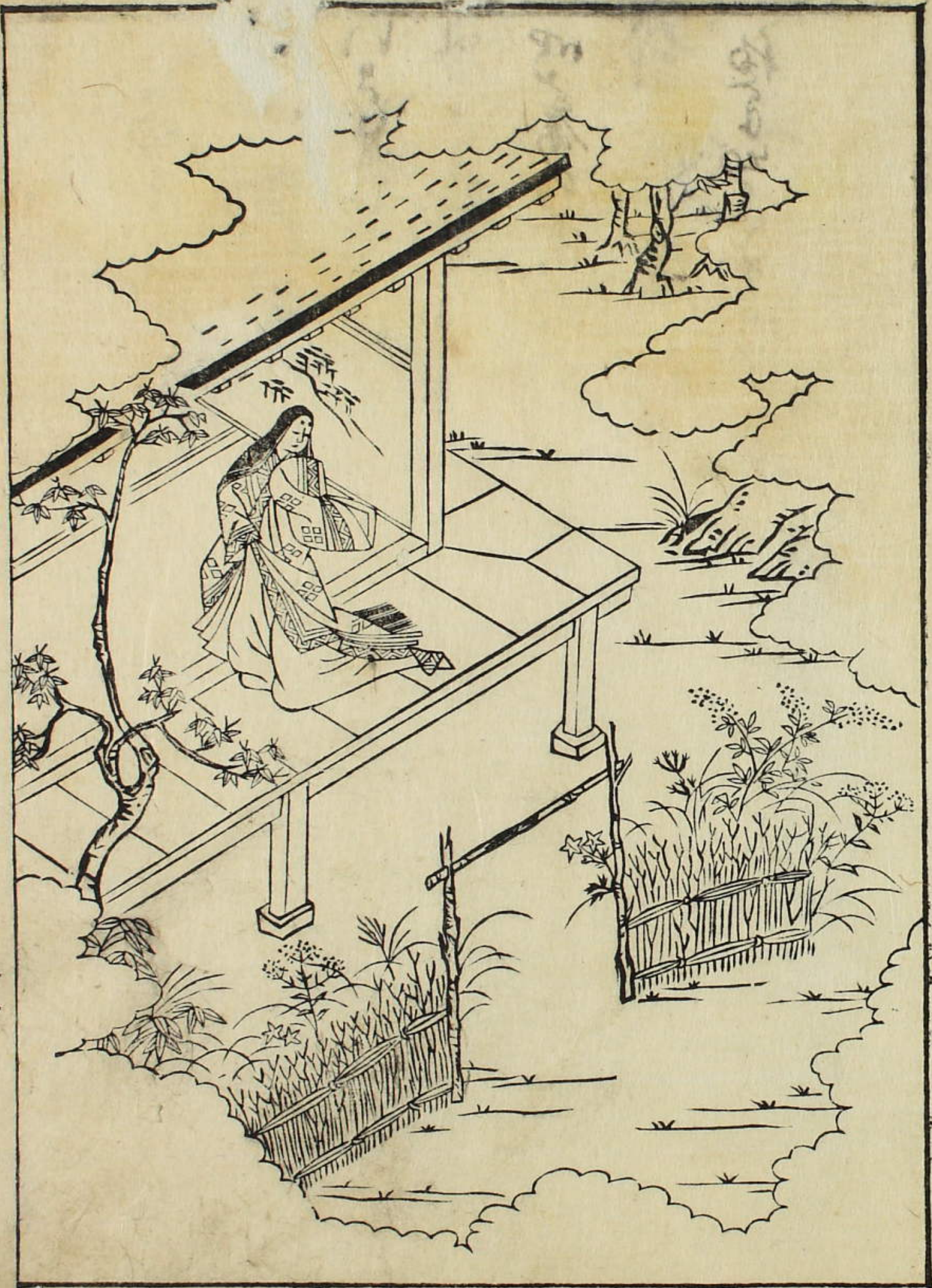
宰相局

壬午厄

兵衛

...





肥後

山二条

武部

花園

若刀

とゆふ神のついでなるいふたふとあふ人の心

ふらふらとあふるはついでなるいふたふとあふ人の心

ふらふらとあふるはついでなるいふたふとあふ人の心

ふらふらとあふるはついでなるいふたふとあふ人の心



しほのうらむね松をさしおひかきあけふらうん松の上風

陸奥

おらゝもあまのたけふらうん松のうらむね

阿比

おらゝもあまのたけふらうん松のうらむね

高野

おらゝもあまのたけふらうん松のうらむね

小倉

夕日新らうん松のうらむね

乃よきしむらひあはれなるはむらひのまことなり  
 乃よきしむらひあはれなるはむらひのまことなり  
 乃よきしむらひあはれなるはむらひのまことなり  
 乃よきしむらひあはれなるはむらひのまことなり  
 乃よきしむらひあはれなるはむらひのまことなり

乃よ

乃將久

乃實久

乃中將

乃前久

乃よきしむらひあはれなるはむらひのまことなり  
 乃よきしむらひあはれなるはむらひのまことなり  
 乃よきしむらひあはれなるはむらひのまことなり  
 乃よきしむらひあはれなるはむらひのまことなり  
 乃よきしむらひあはれなるはむらひのまことなり

乃

乃實久

乃中將

乃前久

乃

小樽紙

仔細

ひらたきりーぬくひまねのうたおとまのうた

あまのつねのまねつりりてあまのまねつりり

古西の依

すまゝのまねつりりてあまのまねつりり

後小海

あまのつねのまねつりりてあまのまねつりり

新加賀

あまのつねのまねつりりてあまのまねつりり

あまのつねのまねつりり

○厚風押色紙和字 中院通村公撰

山早春

後柏系院

あまのつねのまねつりりてあまのまねつりり

海雲風

祇念院入道前太夫

あまのつねのまねつりりてあまのまねつりり

春曉月

於大納言雅親

あまのつねのまねつりりてあまのまねつりり

苗

夜記

梳大納言改寫

ちんぶんたきまつらん〜むん〜るめらる月おらひ徳守

情心

梳中納言基徳

けり〜ゆふ〜や〜り〜は〜り〜り〜る〜る〜る

出極去月

道遠院前内大尺

とらぶのす〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り

長口

梳中納言雅康

人あ〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り

花白

後院院上膳

長〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り

海島似家

宗紙法師

〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り

海記

之先院前内大尺

〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り

海記

道遠院

〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り

餘記

十福院前内大尺

〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り



古の記

道徳法師

愛もあまのりあひまゝに  
言ふに記

いふにたひりもいふに  
卯ふ記

かこはけらんりあひまゝに  
馬と部

いふにたひりもいふに  
扇

後奈良院

まもるはけらんりあひまゝに

早涼

政為

神のまゝらあひまゝに

朝草花

前泰後法

つとてあひまゝに

夜袴

武部高親

みもあひまゝに

萩野

保元院

あつたは萩のうへら

浦月

三光院

秋雨

十福院

赤考夜友

権大納言雅俊

秋夕情

権大納言為彦

霧

雅俊

しるはるるまのうらむるあはるる秋の月夜は後

よすまのうらむるあはるる秋の月夜は

あはるるまのうらむるあはるる秋の月夜は

あはるるまのうらむるあはるる秋の月夜は

あはるるまのうらむるあはるる秋の月夜は

あはるるまのうらむるあはるる秋の月夜は

あはるるまのうらむるあはるる秋の月夜は

あはるるまのうらむるあはるる秋の月夜は

あはるるまのうらむるあはるる秋の月夜は

筆お染

為彦

川おき

即ち

とらふ川おき知とやいそくく人等の木葉は山風そゆく

菅原家

匂書内侍

昔くさくさのしらねらねてゆく秋のそよ風そよ風

時雨

もくつか

くさくさのしらねらねてゆく秋のそよ風そよ風

巖付友

政為

山吹くさくさのしらねらねてゆく秋のそよ風そよ風

曉斎家

青柏法師





依曹約及

まゝにらる

はもくちもくちらるるを在のまにらるるに  
悪久患

道徳法師

あつたのちひはひに  
返書意

道徳院

かきあつたふもひ  
通書不患

雅康

くちもくちらるる  
不達患

基綱

くちもくちらるる

復え患

一位

あつたのちひはひに

宗書意

あつた

はもくちもくちらるる

宗書意

部言親王

あつたのちひはひに

患意

句書内信

あつたのちひはひに





